

誰でも簡単に施工できます。／

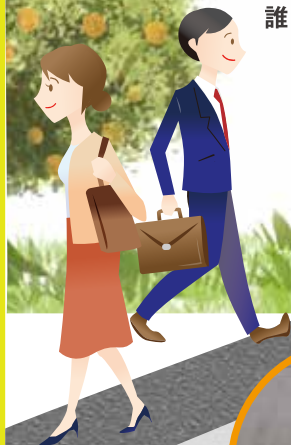
目地&
ひび割れ
充填剤

イソシールAC

Infrastructure Repair Technology Materials

【初版】

イソシール AC は、目地&ひび割れ表面から確実な充填性を発揮し、誰でも簡単に注入施工が出来る常温型注入工法です。



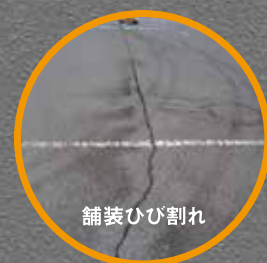
コンクリート
ひび割れ



トンネル目地



橋梁 伸縮目地



舗装ひび割れ

イソシールAC注入工法の特長

- ① ポリウレア樹脂のため、従来工法に比べ、接着性、耐久性、耐摩耗性、ひび割れ追従性、耐熱性、防水性、耐薬品性に優れた性能を発揮します。

ポリウレア樹脂とは

イソシアネートとポリアミンの化学反応によって形成された樹脂化合物です。防水性、耐久性、耐摩耗性、耐熱性に優れ、様々な環境原因から基材を保護します。高い追従性を発揮し、破壊が生じにくい粘り強い特性を有します。

- ② 粘度が低いので、微小なひび割れにも容易に注入でき、ひび割れの細部および深部まで充填されます。

- ③ 無溶剤型注入剤なので、肉やせがありません。

- ④ 専用の特殊硬質骨材を散布すると、補修跡が目立ちません。



散布後

- ⑤ 硬化物は硬度が高く、温度変化にも強いため、寒冷期の脆化によるひび割れや、盛夏時の強いフラッシュによるべたつきが発生しません。

- ⑥ 常温で使用するため、取り扱いが容易で、かつ低臭のため、迅速な施工ができます。

- ⑦ 硬化が早く、強度、硬度の発現が早いため、解放までの時間が短縮できます。

- ⑧ 加熱溶解や、特殊な注入機械などを必要としません。

施工手順 (舗装ひび割れの場合)

1 施工前

2 清掃工 コンプレッサーおよびブロアーを用いてひび割れ内清掃

3 材料の混合

4 注入工 ソフトカートリッジ

5 特殊硬質骨材散布 (必要に応じて)

6 完成

製品情報

■ 製品名: イソシールAC 荷姿: 6.4kg セット (A液: 3.2kg B液: 3.2kg)
 * A液: B液 = 1:1 で調合し素早く容器に入れてご使用ください。
 * A液は硬化速度に応じて、S・M・Fのタイプがあります。

● 副資材

■ 推奨カートリッジ
 産業廃棄物対策容器 ソフトカートリッジ(別売)
 容量 600ml

* コンクリートへ施工する場合は、プライマーが必要です。

試験成績

試験項目		試験条件		試験結果	規格 (案)
円すい針入度	(mm)	試験温度 25℃		0.7	9 以下
軟化点	(℃)	5℃ / min		130 以下	80 以上
流動	(mm)	試験温度 60℃ 5h		0	3 以下
フラス軟化点	(℃)	-1℃ / min		-35 以下	-12 以下
割れ抵抗性	(℃)	-10℃ / h		-33	9 以下
弾性 (球針) (標準)	初期貫入量 (mm)	試験温度 25℃		0.3	-
	復元率 (%)			22.0	30 以下
弾性 (球針) (老化)	初期貫入量 (mm) 復元率 (%)	試験温度	90℃	0	-
			168 ± 2h	24.0	30 以下
塗膜硬度	JIS K 7215 タイプ A 20℃		68	-	
伸び率	JIS A 6021		338%	-	

使用量の目安 深さと幅による一覧 (10m あたり)

		幅 (mm)			
		2	5	10	20
深さ (mm)	10	0.22kg (0.4 本)	0.55kg (1.0 本)	1.10kg (1.9 本)	2.20kg (3.7 本)
	20	0.44kg (0.8 本)	1.10kg (1.9 本)	2.20kg (3.7 本)	4.40kg (7.4 本)
	30	0.66kg (1.1 本)	1.65kg (2.8 本)	3.30kg (5.5 本)	6.60kg (11.0 本)
	40	0.88kg (1.5 本)	2.20kg (3.7 本)	4.40kg (7.4 本)	8.80kg (14.7 本)

※使用量 kg () 内は本数、比重は 1.0 で算定してあります。
 ※本数はロス 10%を見込み、割り増してあります。
 1 本 600g (A液+B液)

お取り扱いの際は、別途、説明書、SDS、注意事項をよくご確認のうえ、ご使用ください。その他、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所にお問い合わせください。

日本特殊塗料株式会社



- お問い合わせ先
- | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|
| 東京営業所 〒114-8584 東京都北区王子5-16-7 | ☎ (03) 3913-6203 FAX (03) 3913-6323 |
| 神奈川営業所 〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10 | ☎ (0463) 23-2135 FAX (0463) 23-3739 |
| 中部営業所 〒472-0006 愛知県知立市山町東並木12 | ☎ (0566) 81-8111 FAX (0566) 81-8124 |
| 大阪営業所 〒565-0853 大阪府吹田市春日1-4-12 | ☎ (06) 6386-8492 FAX (06) 6338-3560 |
| 中四国営業所 〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13 | ☎ (082) 423-8231 FAX (082) 423-8256 |
| 九州営業所 〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726 | ☎ (0942) 89-5766 FAX (0942) 89-5762 |

■ 代理店